

戸畑製作、新会社が始動

マグネダイカスト品製造



【北九州】戸畑製作所（北九州市小倉南区、松本敏治社長）のマグネシウムダイカストを手がける新会社、戸畑グローバルマグネシウムコーポレーション（TGM C、同小倉南区）が稼働を始めた。ホイールなどの自動車部品や半導体工場向けフロアパネルなどを製造する。試作開発から始め、数年後の量産対応で売上高10億円を目指す。

TGM Cは自動車や半導体業界におけるマグネシウムダイカスト製品の需要や軽量化ニーズに対応する。資本金は5000万円。戸畑製作所が63%、残りをグループ会社の戸畑ターレット工作所（同区）、金属商社の佐藤商事、グローバルマグネシウムコーポレーション（大分県別府市）、ダイカストメーカーの日伸電工（兵庫県たつの市）4社が出資した。戸畑製作所は高炉用非鉄金属製品の加工や溶接を手がける。これまで新エネルギー産業技術総合開発機構（NEDO）と連携し、

難燃性マグネシウム合金を使った自動車部材の量産プロセス技術開発を進めてきた。松本社長は「高品質やコスト削減、環境に配慮した製造プロセスを実現させたい」と意気込む。